

# 強く大きな党をつくる

## 全県地方議員団会議開く

日本共産党島根県委員会は8日、大田市で全県



地方議員団会議を開きました。地方議員や機関役員ら27人が出席し、党活動や議会活動などを交流しました。(写真)

後藤勝彦県委員長は、  
「大きな志とロマンを感じさせる綱領一部改定案と大会決議案を一体のものとしてつかみ、語り合い、大運動の目標達成を必ずやり遂げよう」と強調。「党大会成功に向けて野党連合政権へ道をひらく、強く大きな党をつくらう」と呼びかけました。

自治体部の尾村利成、大田陽介の両県議が「党議員団の日常活動を強め、党支部・機関とも協力し、議会内外でくらしと福祉、防災など安全を守る住民要求実現に力を尽くそう」と訴えました。

参加者からは「議員団でも綱領一部改定案、決議案をしっかりと議論したい」「新人議員研修を継続的に開くなど、議員の学習と交流の場を持つてほしい」などの意見が出されました。

「自民党は自衛隊違憲論を解消するために憲法を改正すると言っているが、違憲論はあってもいい。違憲解消論は理由にならない」と強調しました。また、自民党が「憲法解釈を変えない」と説

明していること、ふれ、「そうであるなら、今の条文のまま問題ない」と述べました。県弁護士会として反対決議(2018年12月)を上げていると紹介しました。

「原発ゼロだ」「今すぐゼロだ」  
県庁前 280回目の金曜日行動  
松江市の県庁前で15日、280回目の金曜日行動が行われました。「原発ゼロだ、今すぐゼロだ」とコールしながら中国電力島根支社までパレードしました。リレートークでは、震度6強の地震発生を前提

## 自衛隊条項の創設必要ない 市憲法フォーラム 中川修一弁護士が講演



市憲法フォーラム 中川修一  
県憲法会議は16日、自民党9条改憲案(自衛隊条項創設)の問題点を学ぶ「市憲法フォーラム」を松江市で開催しました。

県弁護士会憲法問題対策本部委員長の中川修一弁護士が講演(写真)し、

迎えた出雲市の地域班の代表議員は「これまで月1〜2回開いていた班会を毎週開こうと議論し、毎週開催するようにしたら活動も活発になった。楽しい活動ができるようになり、周りの友人にも班会のことを話せるようになり、仲間増やしにもつながっている」と語りました。

吉井県委員長は討論のまとめで「すべての班が大会決議案を討議し、仲間を増やす一歩をふみだそう」と呼びかけ、決意を固めました。会議では、政府がすすめる「働き方改革」の問題点などについて講師を迎えて学習会を行いました。日本共産党の尾村利成県議が連帯と激励あいさつしました。

# 一緒に学び成長し、行動する

## 民青同盟県委が県要請

青年アンケートもとに県へ要望とどける

民青同盟県委員会(吉井安見委員長)は13日、県に対して「青年が暮らしやすい島根県の実現を求め、申し入れを行いました。(写真)日本共産党の尾村利成県議が同席しました。

すると670円。労働時間が10時間を超える日もあるが、休憩時間は30分しかとれない(美容師)。「保育士の仕事にやりがいを感じているが、責任の重さと賃金が見合っていない(保育士)など切実な実態を語り、「近

年、県内でも地震や豪雨災害が頻発している。青年は原発ゼロの安心の島根を求めている」と話しました。県の担当者は「労働環境や処遇改善、就学支援など、県としても問題意識を持っている。国への重点要望なども含め、取り組みを進めたい」と答えました。

民青同盟は22日〜24日にかけて「第43回全国大会」を開催します。全国大会の成功に向けて、民青同盟県委員会は10日、松江市で県代表者会議を開きました。日ごろの活動を交流しながら全国大会決議案を討議。今年3人の仲間を

「原発ゼロだ」「今すぐゼロだ」  
県庁前 280回目の金曜日行動  
松江市の県庁前で15日、280回目の金曜日行動が行われました。「原発ゼロだ、今すぐゼロだ」とコールしながら中国電力島根支社までパレードしました。リレートークでは、震度6強の地震発生を前提

迎えた出雲市の地域班の代表議員は「これまで月1〜2回開いていた班会を毎週開こうと議論し、毎週開催するようにしたら活動も活発になった。楽しい活動ができるようになり、周りの友人にも班会のことを話せるようになり、仲間増やしにもつながっている」と語りました。

吉井県委員長は討論のまとめで「すべての班が大会決議案を討議し、仲間を増やす一歩をふみだそう」と呼びかけ、決意を固めました。会議では、政府がすすめる「働き方改革」の問題点などについて講師を迎えて学習会を行いました。日本共産党の尾村利成県議が連帯と激励あいさつしました。

## 県代表者会議 仲間をふやす一歩を ふみだそう

民青同盟は22日〜24日にかけて「第43回全国大会」を開催します。全国大会の成功に向けて、民青同盟県委員会は10日、松江市で県代表者会議を開きました。日ごろの活動を交流しながら全国大会決議案を討議。今年3人の仲間を

迎えた出雲市の地域班の代表議員は「これまで月1〜2回開いていた班会を毎週開こうと議論し、毎週開催するようにしたら活動も活発になった。楽しい活動ができるようになり、周りの友人にも班会のことを話せるようになり、仲間増やしにもつながっている」と語りました。

吉井県委員長は討論のまとめで「すべての班が大会決議案を討議し、仲間を増やす一歩をふみだそう」と呼びかけ、決意を固めました。会議では、政府がすすめる「働き方改革」の問題点などについて講師を迎えて学習会を行いました。日本共産党の尾村利成県議が連帯と激励あいさつしました。

迎えた出雲市の地域班の代表議員は「これまで月1〜2回開いていた班会を毎週開こうと議論し、毎週開催するようにしたら活動も活発になった。楽しい活動ができるようになり、周りの友人にも班会のことを話せるようになり、仲間増やしにもつながっている」と語りました。

吉井県委員長は討論のまとめで「すべての班が大会決議案を討議し、仲間を増やす一歩をふみだそう」と呼びかけ、決意を固めました。会議では、政府がすすめる「働き方改革」の問題点などについて講師を迎えて学習会を行いました。日本共産党の尾村利成県議が連帯と激励あいさつしました。

# 地域の話題

## 地域の学びの場充実を 向田議員が要求

向田議員「子どもたちの学びを地域で支えられよう子育て協働プロジェクト事業(県事業)のさらなる活用を図り、各交流センター単位でも実施できるようにすべきではないか。

市民生活部次長「市では県事業も活用しながら教育協働活動支援事業による地域づくりに取り組んでいる。中学校区ごとに地区交流センターと連携して推進協議会を設置し、学校と地域との調整を行うコーディネーターを配置している。広瀬中学校区を皮切りに順次取り組み

向田議員「子どもたちの学びを地域で支えられよう子育て協働プロジェクト事業(県事業)のさらなる活用を図り、各交流センター単位でも実施できるようにすべきではないか。

## 飯南 非核平和都市宣言を 伊藤議員が要望

飯南議員「非核平和都市宣言自治体は、1630道府県(2017年9月現在)に及び、全国の自治体の91.2%であり、県内では、県を含む20自治体のうち14自治体が宣言している。来年は国際的なスポーツの祭典も開かれ、被爆75周年の節目にも当たる。飯南町も非核平和都市宣言をすべきではないか。

町長「大切な宣言なので、平和を願うという大切な日に宣言すべきだと思う。来年は平和の祭典

飯南議員「非核平和都市宣言自治体は、1630道府県(2017年9月現在)に及び、全国の自治体の91.2%であり、県内では、県を含む20自治体のうち14自治体が宣言している。来年は国際的なスポーツの祭典も開かれ、被爆75周年の節目にも当たる。飯南町も非核平和都市宣言をすべきではないか。

## 浜田 学校エアコン設置 西村議員が質問

西村議員「昨年度予算化した小中学校の普通教室、幼稚園保育室のエアコン整備事業の進捗状況及び今後の工事スケジュールについて伺う。

教育部長「小中学校の普通教室等と幼稚園保育室229室のうち、すべての中学校の計72教室へのエアコン設置が完了した。小学校と幼稚園については、設計が終わり、9月に入札、来年2月下旬までの工期となっている。(西村健の議会報告)より」

西村議員「昨年度予算化した小中学校の普通教室、幼稚園保育室のエアコン整備事業の進捗状況及び今後の工事スケジュールについて伺う。

教育部長「小中学校の普通教室等と幼稚園保育室229室のうち、すべての中学校の計72教室へのエアコン設置が完了した。小学校と幼稚園については、設計が終わり、9月に入札、来年2月下旬までの工期となっている。(西村健の議会報告)より」



民青同盟は22日〜24日にかけて「第43回全国大会」を開催します。全国大会の成功に向けて、民青同盟県委員会は10日、松江市で県代表者会議を開きました。日ごろの活動を交流しながら全国大会決議案を討議。今年3人の仲間を

迎えた出雲市の地域班の代表議員は「これまで月1〜2回開いていた班会を毎週開こうと議論し、毎週開催するようにしたら活動も活発になった。楽しい活動ができるようになり、周りの友人にも班会のことを話せるようになり、仲間増やしにもつながっている」と語りました。

吉井県委員長は討論のまとめで「すべての班が大会決議案を討議し、仲間を増やす一歩をふみだそう」と呼びかけ、決意を固めました。会議では、政府がすすめる「働き方改革」の問題点などについて講師を迎えて学習会を行いました。日本共産党の尾村利成県議が連帯と激励あいさつしました。

迎えた出雲市の地域班の代表議員は「これまで月1〜2回開いていた班会を毎週開こうと議論し、毎週開催するようにしたら活動も活発になった。楽しい活動ができるようになり、周りの友人にも班会のことを話せるようになり、仲間増やしにもつながっている」と語りました。

吉井県委員長は討論のまとめで「すべての班が大会決議案を討議し、仲間を増やす一歩をふみだそう」と呼びかけ、決意を固めました。会議では、政府がすすめる「働き方改革」の問題点などについて講師を迎えて学習会を行いました。日本共産党の尾村利成県議が連帯と激励あいさつしました。